

地域密着型サービス評価の自己評価票

( 部分は外部評価との共通評価項目です)

取り組んでいきたい項目

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
. 理念に基づく運営				
1. 理念と共有				
1	○ 地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	玄関にホームの理念を掲示しており、又、面会者や見学者には随時説明を行なっている。	○	地域密着型サービスとしては、まだまだ積極的とはいえない為、今後は地域への参加に積極的に取り組んでいきたい。
2	○ 理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	管理者・職員全員の目の届くところに理念を掲示し、常に意識することで理念の実践に向けて取り組んでいる。		
3	○ 家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえよう取り組んでいる	見学时、入居時等には書面を配布して説明しており、地域の方々にも講演会等で話をしている。		
2. 地域との支えあい				
4	○ 隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	認知症の講演会等については、地域の方々への案内状を出したりして参加していただいている。		
5	○ 地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	老人会での講演会等に積極的に参加したり、近所の神社のお祭りには毎年参加している。		

グループホーム 倫尚園

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
6	○事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	老人会では、認知症に関する講演を行っており、その都度相談を受けたり、説明を行なっている。	○	地域の方々が今まで以上に気軽に相談していただけるよう、地域での活動を続けていきたい。
3. 理念を実践するための制度の理解と活用				
7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	評価は全職員が把握し、一人一人が日頃のケアを振り返って、今後のケアに活かすよう話し合っている。		
8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議では、提供しているサービスを説明し、参加メンバーからの意見を聴くようにしている。		
9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	市の委託により、認知症リーダー研修や開設者研修の実習受け入れをしており、定期的に連絡を取っている。		
10	○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	現在必要とする入所者はいないが、法人内研修で学ぶ機会を持っている。		
11	○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	法人内研修や他事業所との合同勉強会で虐待防止を取り上げ、参加することで常に意識し、防止に努めている。		

グループホーム 倫尚園

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制				
12	○ 契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約の前には十分な相談・説明の機会をつくり、理解・納得していただけるようにしている。		
13	○ 運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	利用者意見等はカンファレンス時に話し合い、今後どうすべきか全職員で話し合うようにしている。		
14	○ 家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	ご家族面会時や行事参加時には状況報告を行うようにしている。又金銭管理に関しても、電話や書面、面会時に報告している。		
15	○ 運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	ご家族等の意見に関しては、全職員が把握できるよう連絡ノート・引継ぎを活用し、その都度対応策を話し合っている。		
16	○ 運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	普段の会話の中で、職員の意見を聞いているが、反映されるまでには至っていない。	○	現場の意見を法人に理解してもらえるようにしていきたいが、具体的には決まっていない。
17	○ 柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	活動の多い日中は、職員を多く配置し、夜間は2人、朝・夕は3人と入居者の生活に合わせたローテーションを組んでいる。		
18	○ 職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	異動については、法人が決定している為利用者のダメージを防ぐといった点では理解がされていない。		

グループホーム 倫尚園

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援				
19	○人権の尊重 法人代表者及び管理者は、職員の募集・採用にあたっては性別や年齢等を理由に採用対象から排除しないようにしている。また、事業所で働く職員についても、その能力を発揮して生き生きとして勤務し、社会参加や自己実現の権利が十分に保証されるように配慮している。	職員の募集・採用に関しては法人が全て行っており、管理者には把握できていない。		
20	○人権教育・啓発活動 法人代表者及び管理者は、入居者に対する人権を尊重するために、職員等に対する人権教育、啓発活動に取り組んでいる。	法人内の研修では取り上げられ、参加はしているものの、教育・啓発までには至っていない。	○	今後は、代表者・管理者が率先して学び、職員にも学ぶ機会を作って実践していきたい。
21	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	法人内で研修プログラムを作成して、実施している。また、必要であれば外部の研修にも参加するようにしている。		
22	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	外部の事業所と合同勉強会を通して意見交換をし、実際の困難事例を元によりよいサービスの向上を図っている。		
23	○職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	スタッフのストレスについて会話の中での軽減くらいしか出ていないのが実際である。	○	スタッフのストレスに関してもっと理解し、解消する為の工夫・環境を管理者としてつくっていきたい。

グループホーム 倫尚園

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
24	○向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	スタッフの努力や実績を目に見えるように評価するよなものがない。スタッフとは、できるだけ多く話す時間をつくり、向上心を持てるような話はしている。		
安心と信頼に向けた関係づくりと支援				
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応				
25	○初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	入居前の面接の際には、ホームに来ていただくか訪問するようにし、できるだけ詳しく話を聞けるよう入居後にはマンツーマンにて信頼関係を作る努力をしている。		
26	○初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	面接時にある程度お聞きし、入居後にはその都度相談をお受けしている。		
27	○初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	当ホームに空きがなく、急を要する時には他のサービス利用や居宅の事業所・グループホームをすすめたり、在宅での介護相談に対応している。		
28	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気にならに馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	体験入所を実施しており、実際にホームで生活しながら、環境に馴染めるよう配慮し、その都度家族等と相談している。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援				
29	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	「共に生活する」ことを意識し、実践するようにしている。		

グループホーム 倫尚園

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
30	○ 本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	面接時や行事でご家族が来られた際には状況報告を行い、今後のケアに関して一緒に考えていくようにしている。		
31	○ 本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	常に一緒にいる事だけがよりよい関係ではないため、場合によってはご家族に距離をあけていただき、本人とご家族のよりよい関係を支援している。		
32	○ 馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	個別支援において、馴染みの人と連絡を取り、違いに行けるよう日にち、時間を調整、送迎等の支援を行っている。		
33	○ 利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	食堂や座敷での座る位置、数名で外出する際等、入居者同士の関係に十分注意した上で、関わり合いが出来るようきっかけ作りをしている。		
34	○ 関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	職員が自発的に面会に行く等、入居者や家族との関係を継続している。		
. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント				
1. 一人ひとりの把握				
35	○ 思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	入居時にはご家族に生活暦チャートへの記入を依頼し、一人ひとりの思いや暮らし方の希望をチャートからくみ取り、「その人らしさ」を大切にしている。		

グループホーム 倫尚園

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
36	○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居時にご家族に生活歴チャートへの記入を依頼し、これまでの状況の把握に努めている。		
37	○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	常日頃から一人ひとりの過ごし方についてはスタッフ間で話をし、ICFで学んだことを活かせるように努めている。	○	入居者の重度化に伴い、身体的な介護に目がいってしまいがちなため、スタッフともしっかりとICFの目線を大事にできるよう話し合いを持ちたい。
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し				
38	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	スタッフの意見も大切にし、「その人らしさ」を主に情報収集を行い、介護計画を作成している。		
39	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	現場ではケアに関して見直しを行っているが、介護計画の見直しまでおいついていない。		
40	○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	1日の様子やケアの実践等、生活支援記録に細かく記入し、出勤前には全職員が目を通すようにしている。	○	担当のスタッフが独自で個別の手順書を作成していることがあり、今後は他の入所者に関しても手順書を多く取り入れていきたい。
3. 多機能性を活かした柔軟な支援				
41	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	ご本人やご家族の状況・要望にできる限り対応できるよう、外出や受診の支援をしている。		

グループホーム 倫尚園

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働				
42	○地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	行事の時にはボランティアを依頼して参加していただいている。また、複合施設ということで、慰問も多くある。		
43	○他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	以前当ホームにおられ、在宅復帰された方は居宅のケアマネジャーと協力し、サービスを利用している。		
44	○地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	現在の関わりは運営推進会議のみになっているのが現状である。	○	地域活動を通じて、地域包括センターとのかかわりをより多く作って行きたい。
45	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	入居時にはかかりつけ医の確認を必ずしており、入居後には必要であればご家族と相談してかかりつけ医の変更も行なっている。		
46	○認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	協力医療機関の精神科医とは、受診だけでなく随時相談に応じていただけるような関係作りはできている。		
47	○看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	複合施設ということで看護師がおり、相談や処置等の対応もできるようになっている。		

グループホーム 倫尚園

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
48	○早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	細めに面会に行き、状況をご家族から聞いたり、病院関係者との情報交換に努めている。		
49	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	当ホームでの生活継続はできるように協力は得られているのが、終末期に関しては方針があいまいであり、十分ではない。		
50	○重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	重度化に関しては可能な限りホームでの生活ができるようチームで支援しているが、終末期に関しては、まだ取り組んでいない。		
51	○住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	退院前には、ご家族・病院側と相談を重ね、徐々に外出・外泊を多くしていきダメージを防ぐことに努めている。		
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援 1. その人らしい暮らしの支援 (1) 一人ひとりの尊重				
52	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	職員は常に敬語を使うよう心がけ、尊敬の意を持って対応している。		

グループホーム 倫尚園

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
53	○利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	入居者からの直接的な訴えが少ない為、日々の生活、会話の中で自己決定できるような支援を行っている。		
54	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	入居者のペースを大切にし、ペースを乱したり否定することのないよう支援している。		
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援				
55	○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	以前は馴染みの店に行かれる方がいらっしゃったが、状態の変化と共に困難になり、現在は全員出張理容サービスを利用している。		
56	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	可能な方にはどんな小さなことでも準備や片付けを手伝っていただき、又、職員は必ず一緒に座って食事を摂っている。		
57	○本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	飲み物に関しては、お茶を好まない方やコーヒーの好きな方もいらっしゃり、常時しょうが湯・コーヒー・牛乳をそろえている。		
58	○気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	排泄チェック表等で排泄パターンを把握し、無理強いはず、さりげなくトイレ行きできるよう心がけている。		

グループホーム 倫尚園

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
59	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	夕食後に入浴される方が2名おられ、時間帯を気にせず好きな時間に入浴していただけるよう支援している。		
60	○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	夜間の就寝時間は一人ひとり異なり、安心して気持ちよく休んでいただけるよう就寝前のケアを大切にしている。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援				
61	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	一人ひとりの状態に応じてドライブや買い物に行く支援をしたり、室内でもテーブルゲームや風船バレー等の楽しみごとを作っている。		
62	○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	盗られ妄想の要因ともなる為、買い物に行った際、その場でお金を渡したりしているが、それもあまりされない方が多い。		
63	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	入居者の希望に応じてドライブや個別での買い物支援を行っている。		
64	○普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	以前は日帰り旅行を実施していたが、重度化に伴い、個別あるいは数名ずつに分けてご家族も一緒に出かける機会を作っている。		

グループホーム 倫尚園

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
65	電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	外部からの電話や手紙の取次ぎはしているが、自発的に電話をされたり、手紙を書いたりといった事は少ない。		
66	家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	訪問された方にゆっくりと過していただけるよう共用スペース(座敷・食堂)等の場の提供や飲み物を提供するようにしている。		
(4) 安心と安全を支える支援				
67	身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束について関心を持ち、より認識を高める為に合同勉強会や法人内研修を実施している。		
68	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	居室に鍵は付いているが、かけることはない。庭へとつながるドアは日中鍵がかかっている事はなく、自由に出入り可能。	○	玄関のドアは自動ドアになっており、中からは開かないようになっている。スイッチで簡単に開け閉めできるが、誰でも手軽に出来るよう工夫したい。
69	利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	監視するのではなく、何かをしながら等さりげなく見守りをしている。また、必要であればチェック表を作成して行動を意識するようにしている。		
70	注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	洗剤や刃物(包丁)は流しの下に保管しており、使用する際はスタッフが一緒に行なっている。		
71	事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	マニュアルとして作成しており、すぐに見られるようにはしてあるが、経験のないスタッフも多く知識や技術も不足している	○	緊急時の対応に関しての研修・実習を多く取り入れ、スタッフの知識を高めていきたい。

グループホーム 倫尚園

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
72	○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	マニュアルを作成しており、いつでもすぐに見られるようにしているが、全スタッフが理解してとはいえず、訓練も年1回のみで不足している。		
73	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	複合施設全体の避難訓練は定期的実施している。大がかりな訓練の時には地域の人々みのお知らせし、協力を得ている。		
74	○リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にしたい対応策を話し合っている	日常生活を送る中で、一人ひとりに起こり得るリスクについてはご家族に十分説明をしている。		
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援				
75	○体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	いつもと違う状態変化の際には、複合施設内の看護師に相談・対応をしてもらっている。		
76	○服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	一人ひとりの使用している薬に関するプリントをファイルに閉じて一覧にしており、スタッフはいつでも見られるようにしている。		
77	○便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	薬も使用しているが、薬ばかりに頼らず便秘に効果のある食物(牛乳・野菜ジュース、ヨーグルト、きな粉)を提供したり、適度な運動を促したりしている。		

グループホーム 倫尚園

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
78	○ 口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	朝、晩の口腔ケアは実施しているが、毎食後や入居者によっては実施できていないケースもある。	○	スタッフへ口腔ケアの重要性をもっと周知する共に、関心を高めていきたい。
79	○ 栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	一人ひとりの食事の食べ方や量は異なる為、おかずを一口大や刻みにしたり、代替品を作ったりして個別に対応している。水分摂取に関しても、数種類常備するようにしている。		
80	○ 感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	法人内に食中毒・感染症予防推進プロジェクトチームがあり、活動している。また、法人全体のマニュアルがある。		
81	○ 食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	調理・食材の管理に関しては複合施設の厨房で行なっている。また、栄養士の指導のもと、食器や調理用具等の衛生管理に努めている。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり				
(1) 居心地のよい環境づくり				
82	○ 安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	玄関には四季の花を飾ったり、メダカや亀・カニを飼ったりと親しみを持ってもらえるようにしている。		
83	○ 居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	「施設」を感じさせず「暮らし」が感じられるように配慮している。また、テレビの音やスタッフの声、足音等入居者にとって不快な環境についてはスタッフと日常的に話をしている。		

グループホーム 倫尚園

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
84	共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	食堂・談話コーナー・座敷等、一人で過したり、入居者同士で過したりと状況や雰囲気に応じて場を提供できるようにしている。		
85	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室には自宅で使われていたタンスや鏡台等使い慣れた物を持ち込んでいただいている。		
86	換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のだよみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	ホーム内の排煙や窓・ドアを開け、その都度換気をするように心がけている。		
(2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり				
87	身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	廊下やトイレ・浴室・座敷の段差部分には手すりが設置されており、居室内も一人ひとりの状態に合わせホータブルトイレ・椅子・テーブルの位置には気をつけている。		
88	わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	居室入口には一人ひとり表札を作ったり、トイレには漢字で「便所」と表示したり、できるだけ入居者が分かりやすいように工夫している。		
89	建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	庭は広く、歩道やあずま屋もあり散歩をしたりしている。また、天気の良い日は日光浴やボール遊び等も行なっている。		

.サービスの成果に関する項目			
項 目		最も近い選択肢の左欄に○をつけてください。	
90	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる		ほぼ全ての利用者の
		○	利用者の2/3くらいの
			利用者の1/3くらいの
			ほとんど掴んでいない
91	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○	毎日ある
			数日に1回程度ある
			たまにある
			ほとんどない
92	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている		ほぼ全ての利用者が
		○	利用者の2/3くらいが
			利用者の1/3くらいが
			ほとんどいない
93	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	○	ほぼ全ての利用者が
			利用者の2/3くらいが
			利用者の1/3くらいが
			ほとんどいない
94	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている		ほぼ全ての利用者が
			利用者の2/3くらいが
		○	利用者の1/3くらいが
			ほとんどいない
95	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	○	ほぼ全ての利用者が
			利用者の2/3くらいが
			利用者の1/3くらいが
			ほとんどいない
96	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○	ほぼ全ての利用者が
			利用者の2/3くらいが
			利用者の1/3くらいが
			ほとんどいない
97	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています		ほぼ全ての家族と
		○	家族の2/3くらいと
			家族の1/3くらいと
			ほとんどできていない

グループホーム 倫尚園

項 目		最も近い選択肢の左欄に○をつけてください。	
98	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている		ほぼ毎日のように
		○	数日に1回程度
			たまに
			ほとんどない
99	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている		大いに増えている
		○	少しずつ増えている
			あまり増えていない
			全くいない
100	職員は、生き生きと働いている		ほぼ全ての職員が
			職員の2/3くらいが
		○	職員の1/3くらいが
			ほとんどいない
101	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う		ほぼ全ての利用者が
			利用者の2/3くらいが
		○	利用者の1/3くらいが
			ほとんどいない
102	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う		ほぼ全ての家族等が
			家族等の2/3くらいが
		○	家族等の1/3くらいが
			ほとんどできていない

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

- ・重度化に伴って、一人ひとりの状態に合わせた個別の介護に力を入れている（徘徊、不穏、食事等）
- ・外部の事業所との合同勉強会を実施しており、当ホーム内だけにとどまらず、スタッフが外部の事業所と交流することで多くの意見や知識を日々の介護に取り入れている。